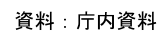


① 道路網

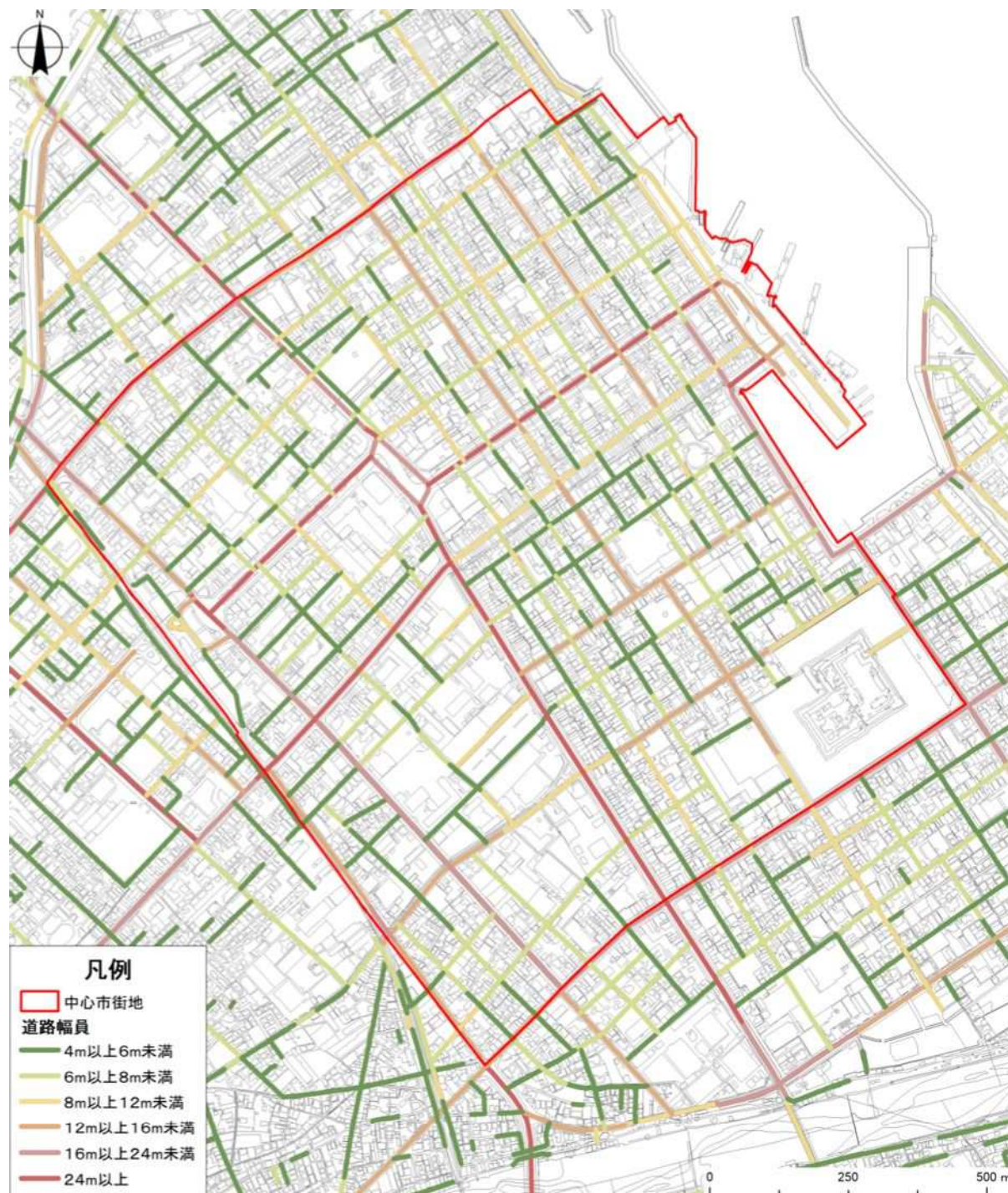
■ 主要な道路網



② 道路幅員

中心市街地では、戦災復興に伴う区画整理が進められた背景から、幅員 4 m 以上の街路が整備されています。

■ 道路幅員状況

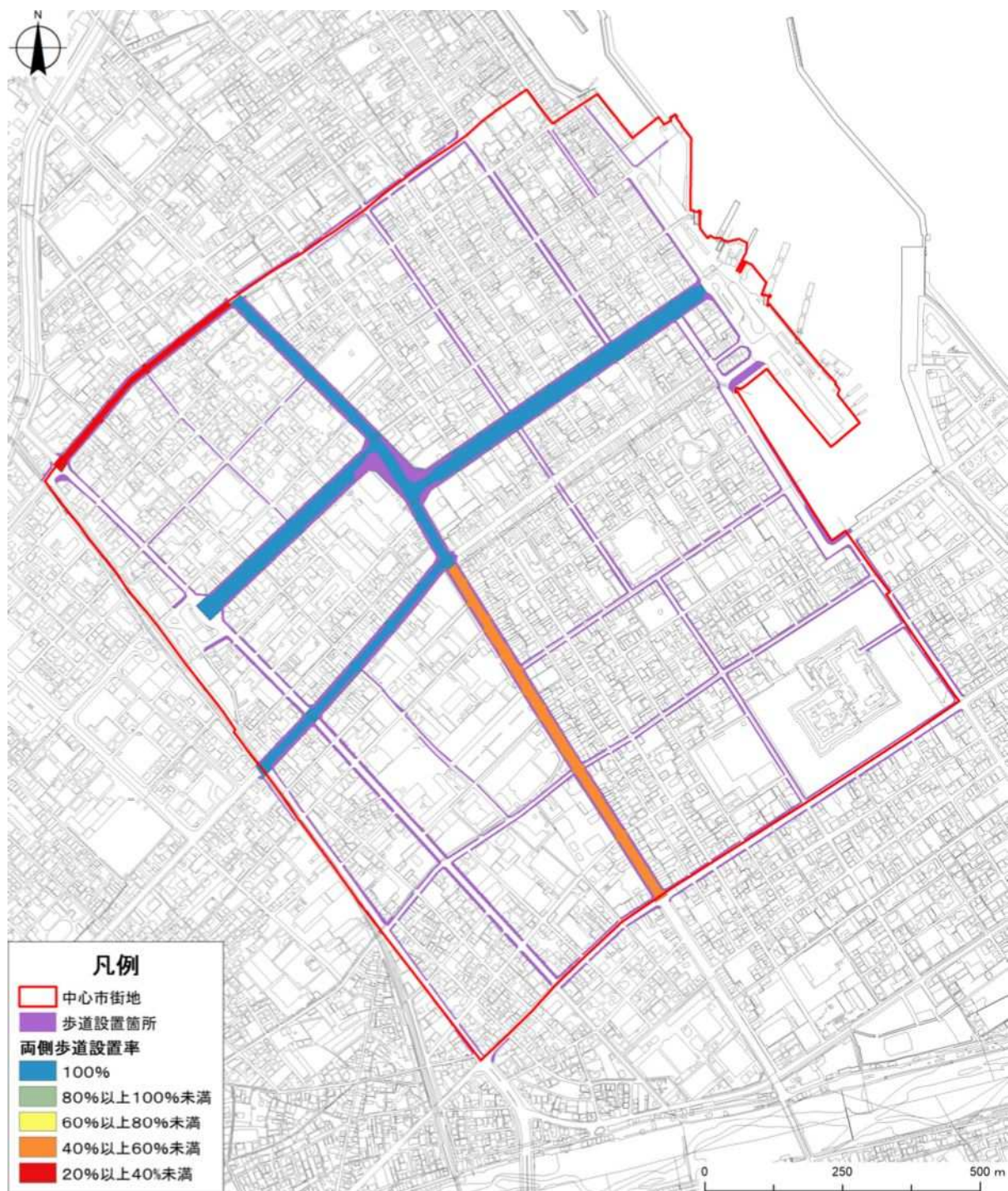


資料：平成 21 年度都市計画基礎調査

③ 歩道設置箇所

中心市街地における歩道設置箇所をみると、国道や県道をはじめとする比較的幅員が広い道路には歩道が設置されていますが、比較的幅員が狭い道路については、片側歩道の場合や歩道が設置されていない箇所がみられます。

■ 歩道設置箇所

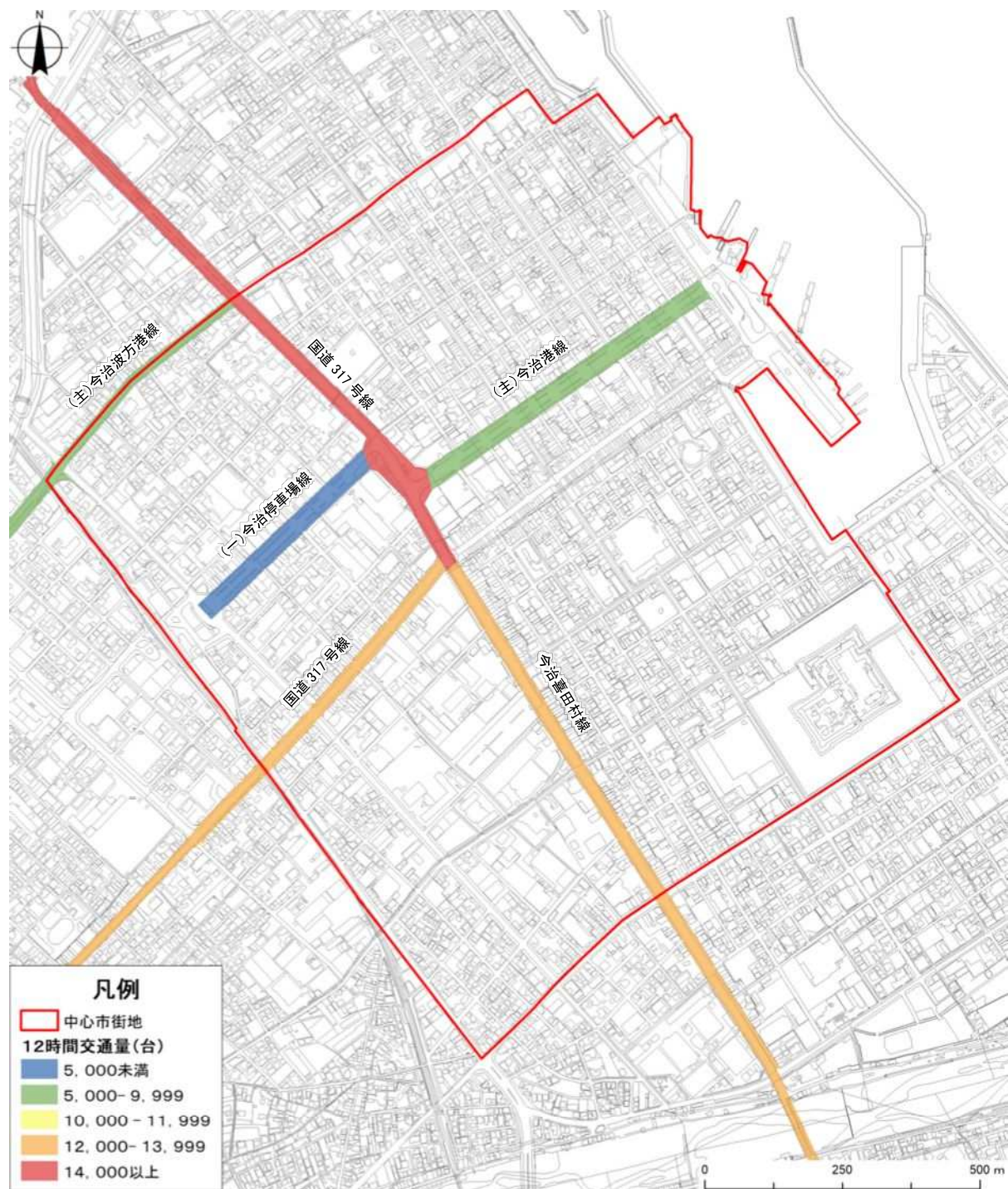


資料：庁内資料

④ 12 時間交通量

中心市街地における 12 時間交通量は、国道 317 号線の一部が 14,000 台以上と最も高くなっています。今治市役所周辺から今治駅前を結ぶ（一）今治停車場線は、5,000 台未満と最も低くなっています。

■ 12 時間交通量



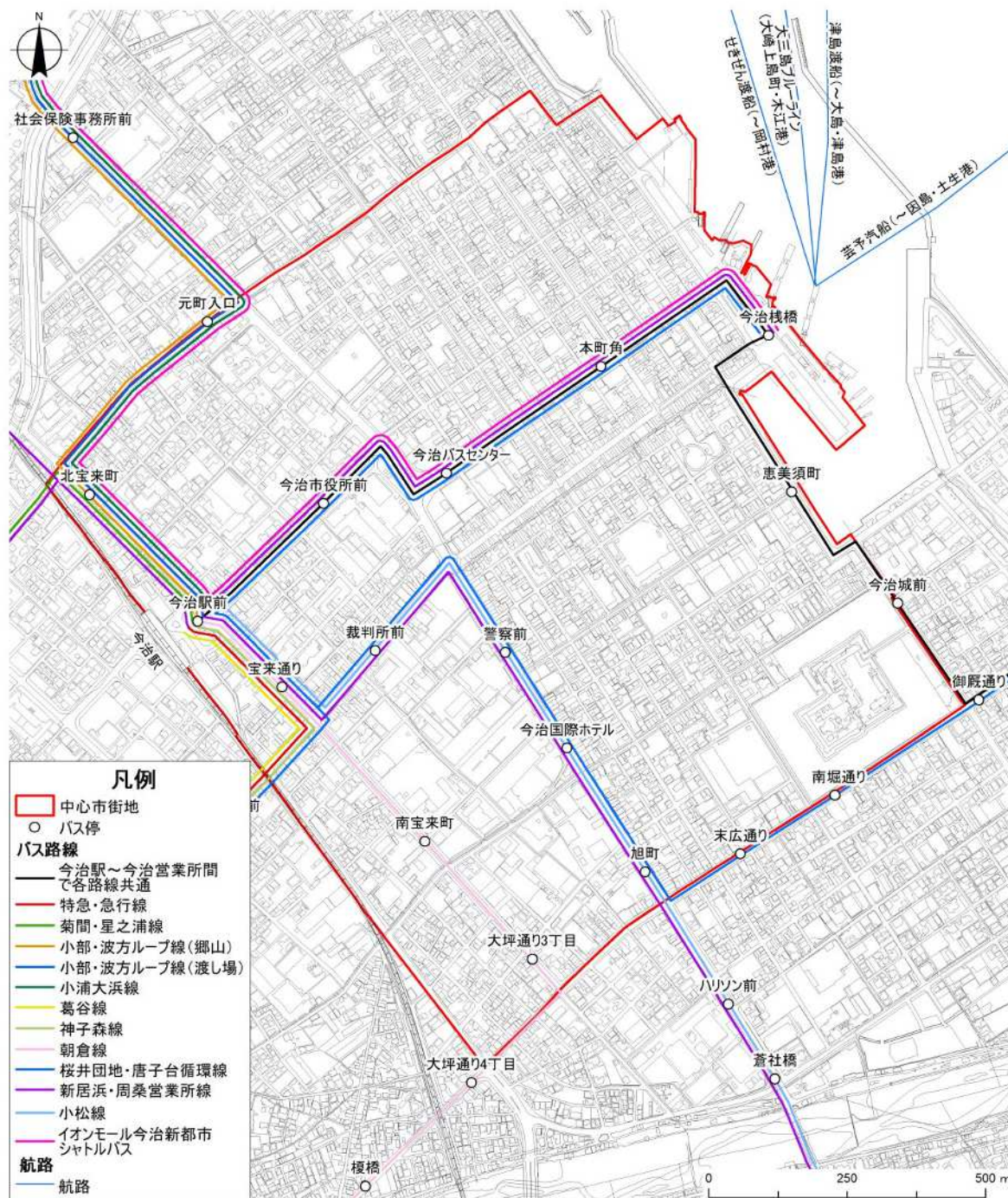
資料：庁内資料

⑤ 公共交通網

中心市街地における公共交通網をみると、鉄道やバス、船といった交通手段が充実しており、バス路線は中心市街地内の主要な道路（国道、県道）を中心に走行している状況です。

バス路線のうち、特に今治栈橋から今治駅前にかけては、ほとんどの系統が運行するなど、市内各地と中心市街地の結節点となっています。

■ 公共交通網

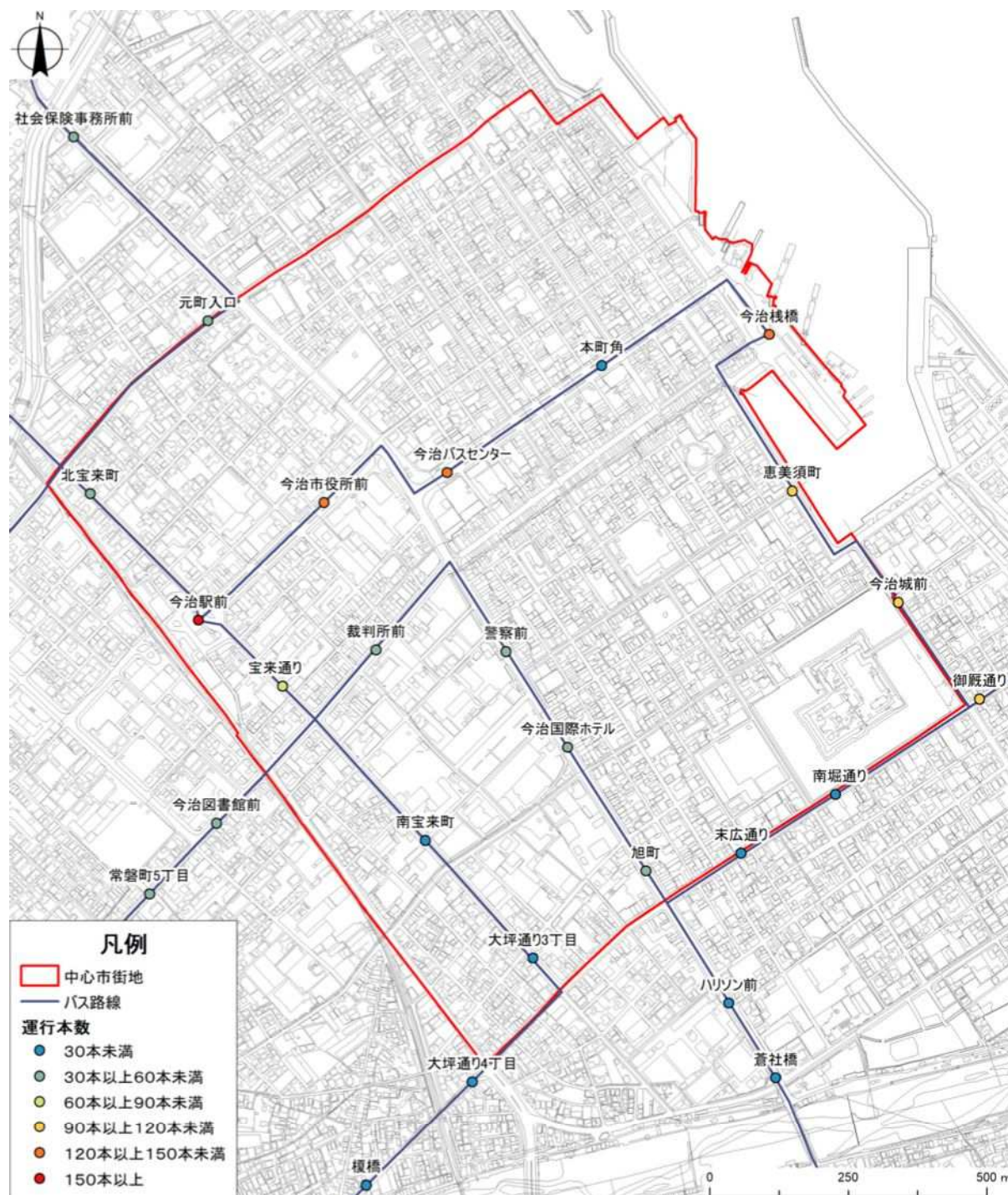


資料：庁内資料

⑥ 公共交通運行本数

中心市街地における公共交通運行本数（バス路線）をみると、南宝来町や大坪通り3丁目等の一部のバス停を除いて、おおむね片道30本/日以上となっており、公共交通の利便性は高い状況にあります。特に今治駅前では、片道150本/日以上バスが運行しています。

■ 公共交通運行本数

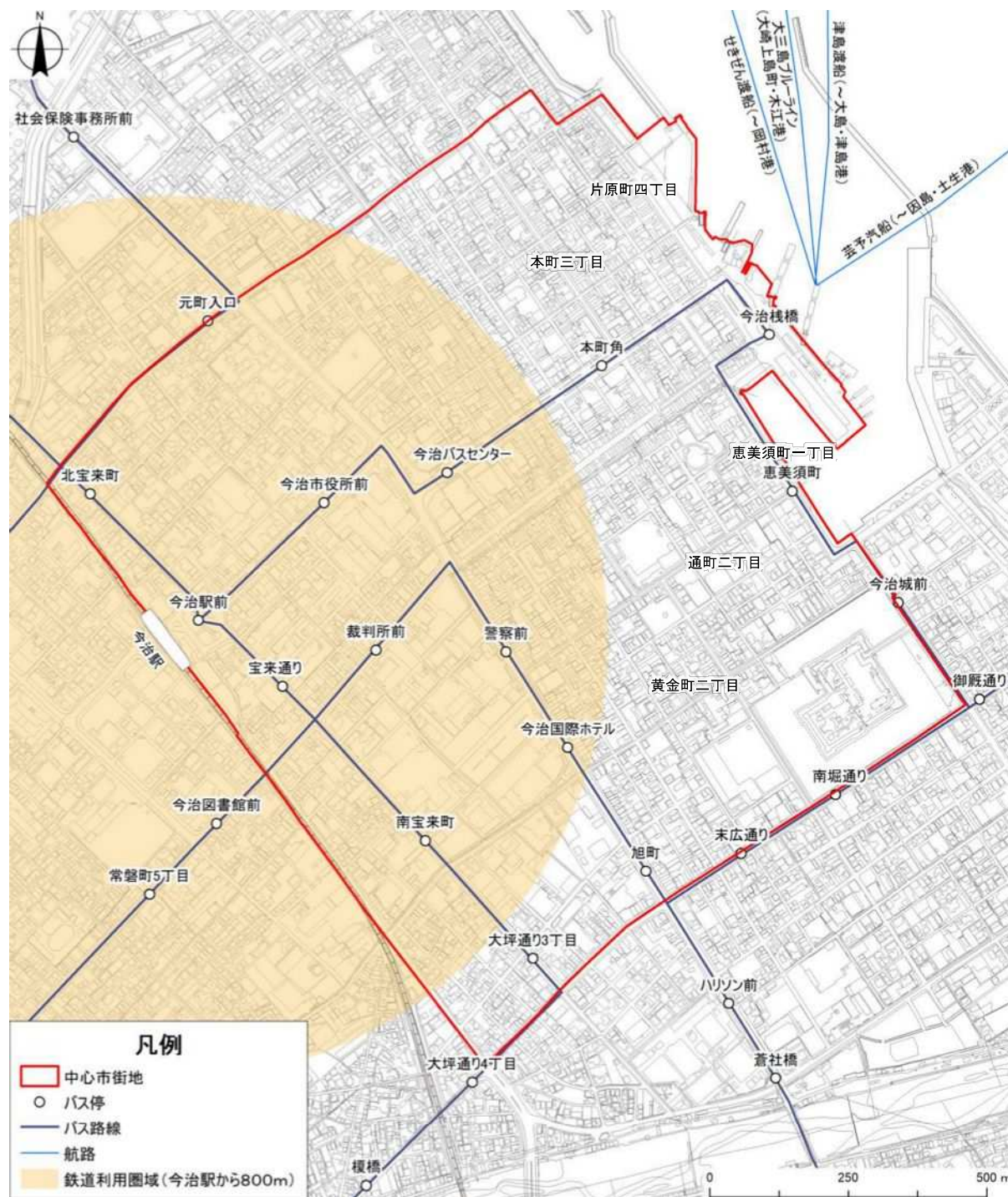


資料：庁内資料

⑦ 公共交通利用圏域

中心市街地における鉄道の利用圏域（今治駅から 800mバッファでカバーできるエリア）をみると、片原町や本町といった今治港周辺のほか、恵美須町、通町、黄金町といった今治城周辺が利用圏域外となっています。

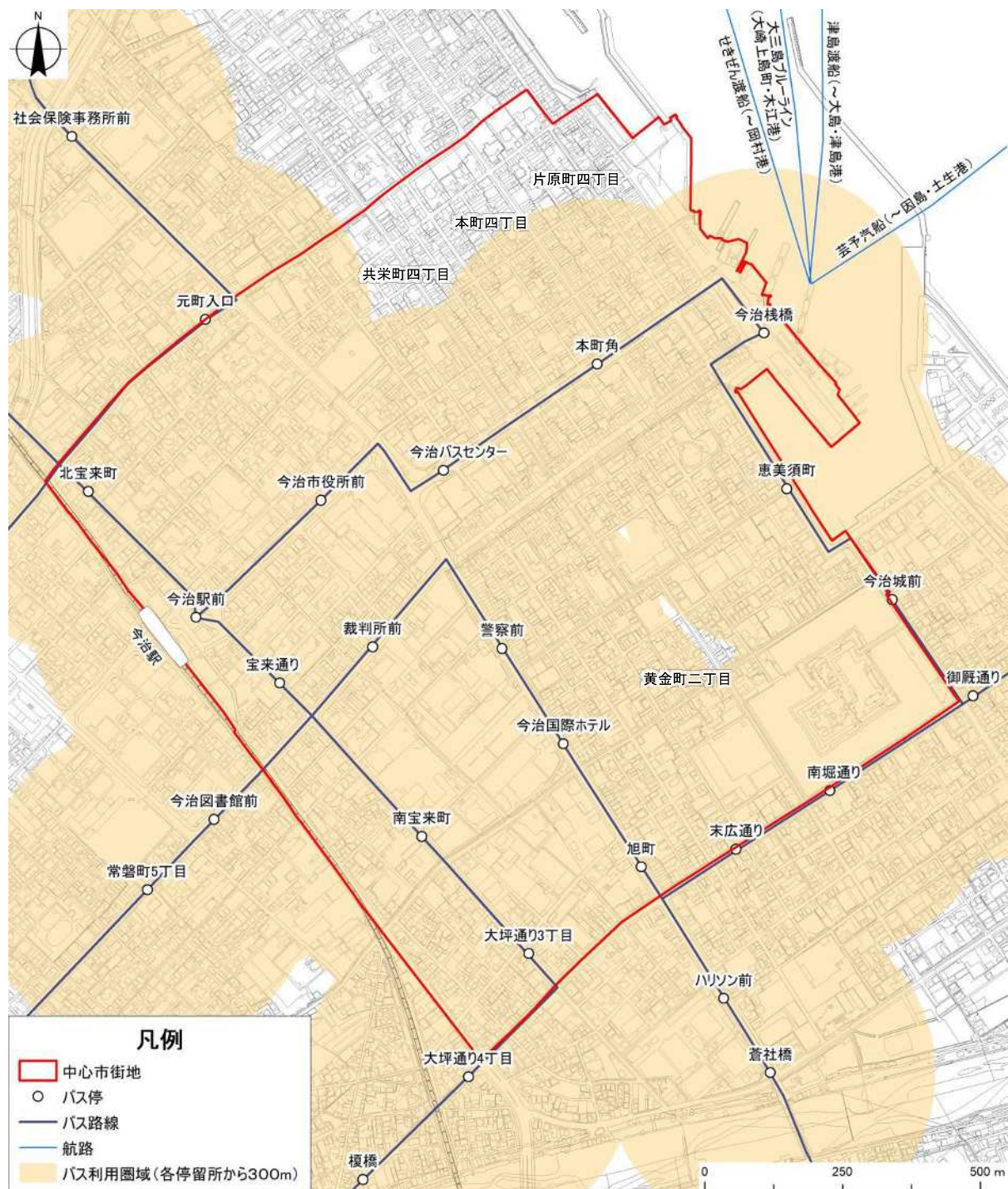
■ 公共交通利用圏域（鉄道）



資料：庁内資料

中心市街地におけるバスの利用圏域（各バス停から 300mバッファでカバーできるエリア）をみると、中心市街地全体をおおむねカバーできていますが、片原町や本町、共栄町、黄金町の一部が利用圏域外となっています。また、これらは公共交通利用圏域（鉄道）からも外れている状況です。

■ 公共交通利用圏域（バス停）

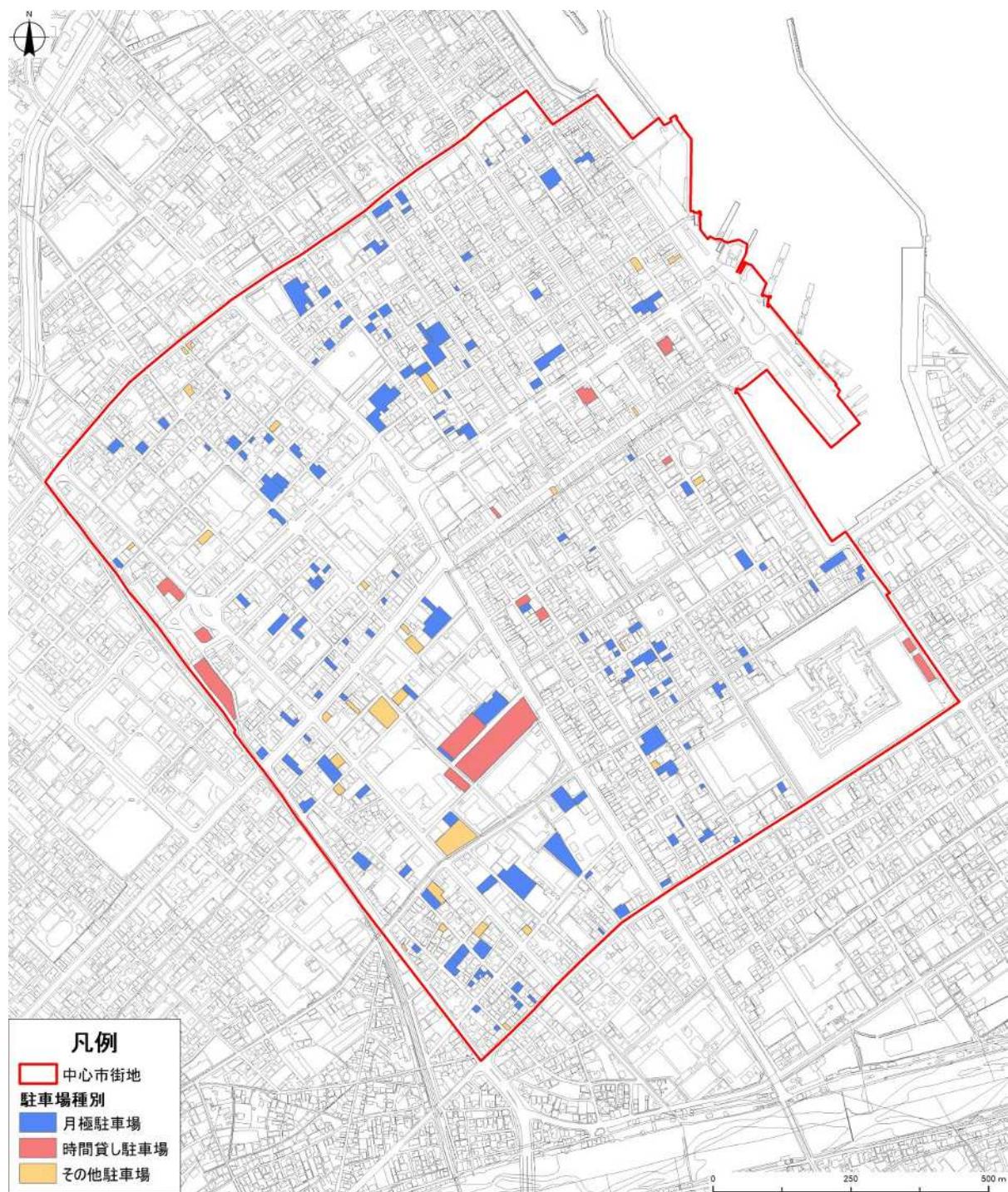


資料：庁内資料

⑧ 自動車駐車場の分布

駐車場の分布をみると、中心市街地全体に多数立地していますが、ほとんどが月極駐車場（契約駐車場を含む）となっています。今治駅や今治港周辺、官公庁エリアには時間貸し駐車場もみられます。また、用途不明となっている駐車場（その他駐車場）も複数みられます。

■ 自動車駐車場の分布



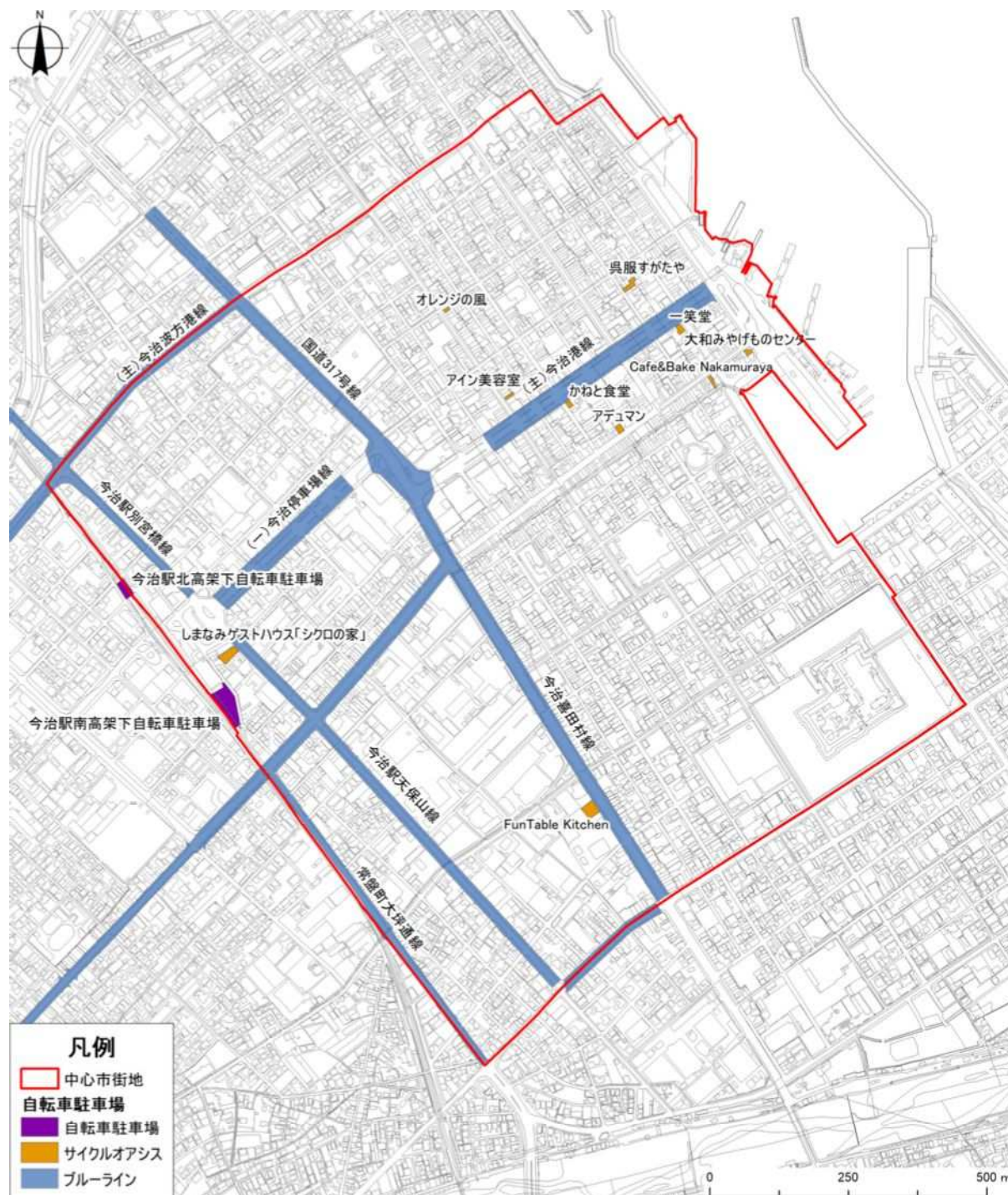
資料：庁内資料

⑨ 自転車駐輪場等の分布

中心市街地における駐輪場は、「今治駅北高架下自転車駐車場」と「今治駅南高架下」の2箇所となっており、いずれも今治駅周辺に分布しています。

また、自転車の利用環境としては、ブルーライン※¹やサイクルオアシス※²が整備されています。

■ 自転車駐車場等の分布



※¹ ブルーライン…路面に引いた青色のラインで、サイクリングコースを案内し、視認性を高め、自動車を運転する方に対して自転車の走行に注意を促すとともに、自転車の走行は左側（車道）であることを注意喚起する

※² サイクルオアシス…サイクリストが、給水や休憩、情報収集のために利用できる施設

資料：庁内資料